

令和元年度 景観条例の運用状況

1 届出件数

令和元年度の届出件数は776件であった。そのうち、まちなかエリアでの届出が約34%、田園エリアが約63%、山麓山間部エリアが約4%を占めていた。

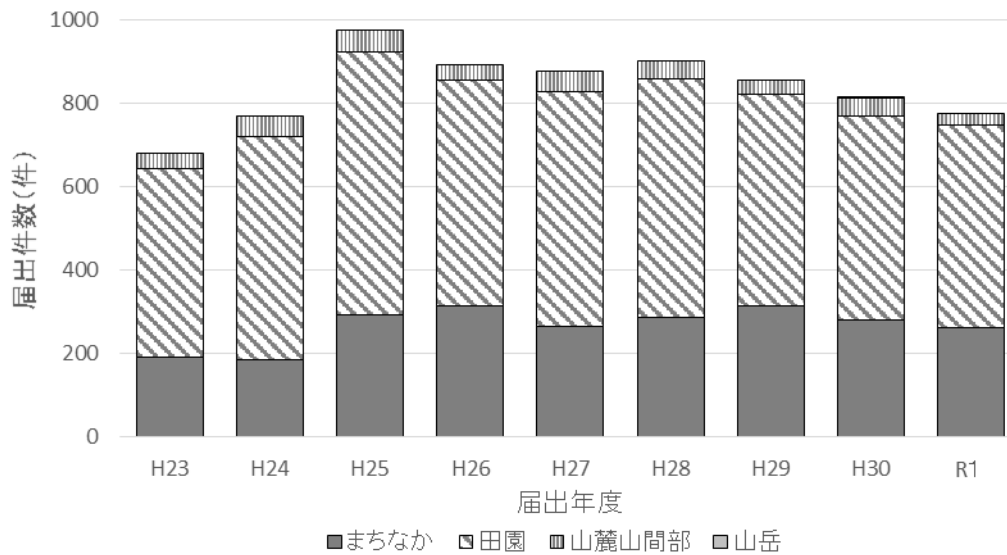


表 年度ごとの各エリアの割合

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
まちなか	28.0	23.9	29.9	35.1	30.2	31.9	36.7	34.4	33.6
田園	66.6	70.0	64.8	60.7	64.0	63.4	59.5	60.4	62.8
山麓山間部	5.4	6.1	5.3	4.1	5.8	4.7	3.9	5.0	3.6
山岳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0

単位: %

※小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

2 届出内容の詳細

行為の種類としては、建築物の新築が最も多く、次いで建築物の外観変更が多かった。エリアごとの傾向としては、まちなかエリアでは建築物の新築が多く、田園エリアでは土地形状の変更が多く、山麓山間部エリアでは建築物の外観変更が多い傾向が見られた。

行為の種類	まちなか エリア		田園 エリア		山麓山間部 エリア		山岳 エリア		合計		
	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	
建築物の 建築等	新築	167	64.0	276	56.7	15	53.6	0	-	458	59.0
	増築、改築、移転	26	10.0	59	12.1	2	7.1	0	-	87	11.2
	外観変更	44	16.9	85	17.5	11	39.3	0	-	140	18.0
工作物の 建築等	新築	2	0.8	2	0.4	0	0.0	0	-	4	0.5
	増築、改築、移転	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	-	1	0.1
	外観変更	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	-	1	0.1
土地の開墾、土石の採取、鉱物の 発掘、その他土地形状の変更	22	8.4	63	12.9	0	0.0	0	-	85	11.0	
屋外における土石、廃棄物、再生資源、 その他の物件の堆積	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-	0	0.0	
合計	261	100	487	100	28	100	0	-	776	100	